

富良野市における調査結果の概要

～全道との比較における考察～

平成25年2月 富良野市教育委員会

《調査概要》

◆調査目的

- ◇全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◆調査対象

小学校第6学年、中学校第3学年

◆調査内容

- ①教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
 - ・主として「知識」に関する問題
 - ・主として「活用」に関する問題
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

《調査結果》

◆教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

【小学校】

国語・算数の「知識」に関する問題及び理科は、全道平均正答率と同等にある。

【中学校】

国語・数学の「知識」「活用」に関する問題及び理科、すべてにおいて全道平均正答率を上回っている。

◆生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

【学校質問紙】

- ◇朝読書や放課後を利用した補足的な学習サポートを実施している割合が高い。
- ◇地域との連携や外部講師を活用している割合が高い。
- ◇教職員が実践的な研修を行ったり、校内外での研修に参加している割合が高い。

【児童生徒質問紙】

- ◇きまりや約束を守っている割合が高い。
- ◇人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている割合が高い。
- ◇人の役に立ちたいと思っている割合が高い。

- ◇自分の考えを発表する機会や話し合う活動を行なっている割合が高い。
- ◇国語の勉強や読書を好きな割合が高い。
- ◇小学校において、理科の勉強が好きだったり、自然観察を行なったことがある割合が高い。

《調査結果に基づく考察》

◆小学校

- ◇教科に関する調査では、「知識」に関する問題は全道平均正答率と同等であり、基礎・基本の確実な習得が一層求められる。
- ◇各学校における実験・観察を重視した授業、富良野自然塾における体験活動等が、理科への興味・関心を高め、学習内容の定着につながっている。

◆中学校

- ◇教科に関する調査では、「知識」「活用」とともに全道平均正答率を上回っており、基礎・基本が確実に習得された結果といえる。
- ◇平成21年度の調査（中学校3年生が小学校6年時に実施）では、全道平均正答率を「知識」は上回っていたが、「活用」は下回っていた。しかし、小学校から中学校へ円滑な接続が行われ、中学校における指導方法を改善・充実させながら、「知識」「活用」分野の学習指導に努めてきた結果といえる。

◆小学校・中学校共通

- ◇言語活動を重視した授業、演劇を通じた表現活動等により、自己表現や協調性が培われている。
- ◇また表現教育は、反復練習（学習）や集中力アップ等の効果が期待でき、学力向上・コミュニケーション能力向上につながる。

この調査結果を踏まえ、学力向上に向けた取り組みを、『富良野市学校教育中期計画（平成25年度～平成29年度）』及び『富良野市ZERO運動』を基軸とし、充実した教育活動が展開できるよう推進していきます。

『富良野市学校教育中期計画（平成25年度～平成29年度）』

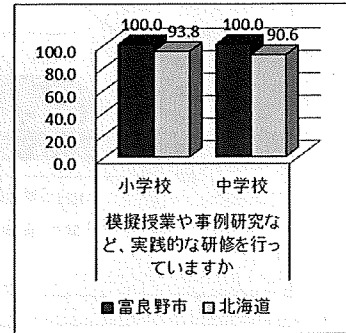
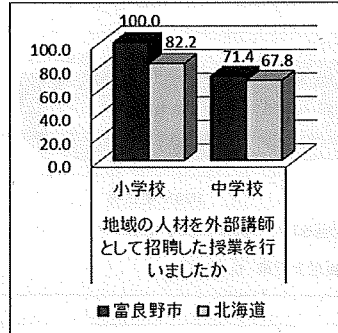
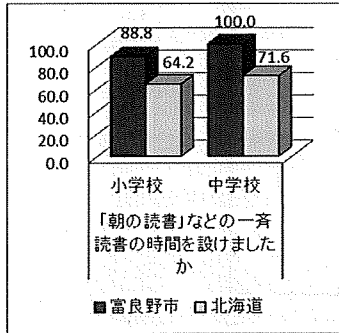
学校教育中期計画（平成20年度～平成24年度）は、「自立と共生の未来を拓く、心豊かでたくましい人を育む」ことを基本理念に掲げ、策定された計画です。この間の成果と課題を土台とし、子どもたちが変化の激しい時代をたくましく生き抜き、自らの未来や社会を拓く「生きる力」をオール富良野で育てていくため、第2次学校教育中期計画（平成25年度～平成29年度）を策定します。

『富良野市ZERO運動』

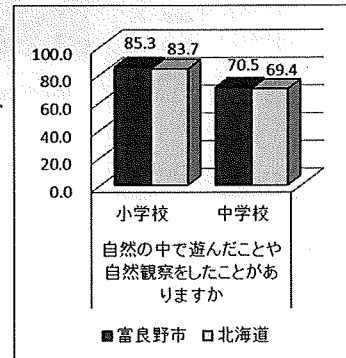
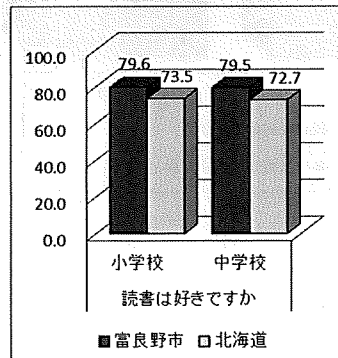
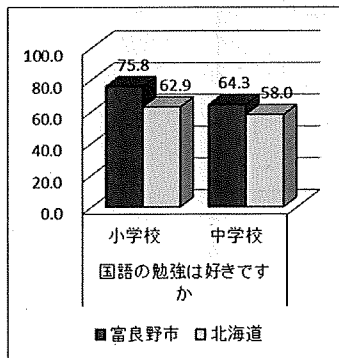
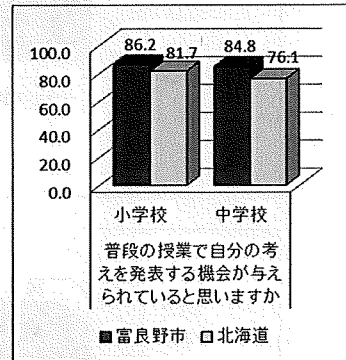
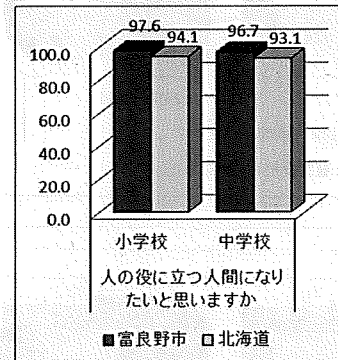
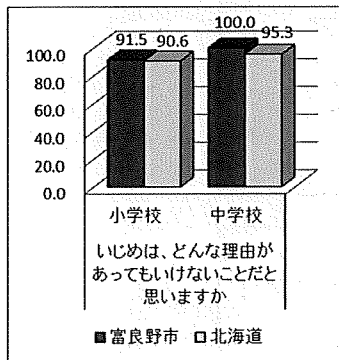
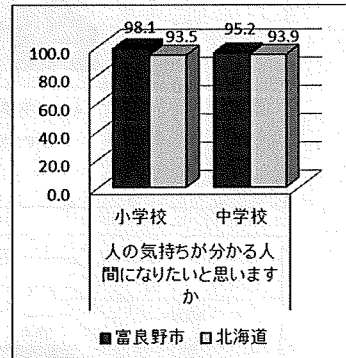
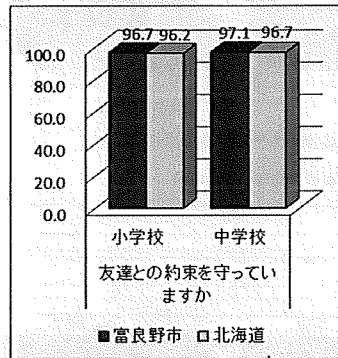
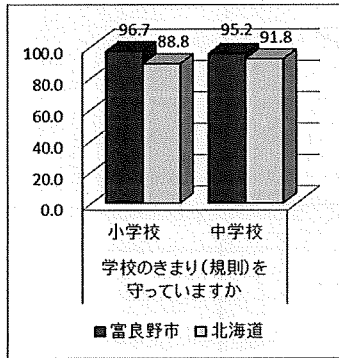
ZERO「0」は、教育の原点であり、和（輪）を表わす「学び」を支える象徴として捉えることができます。「ZERO運動」は、各学校や教職員等が、教育の原点を見つめ直し、主体性や向上性を基軸として教育実践の輪を広げていくことを意味しています。

《資料1》 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（抜粋）

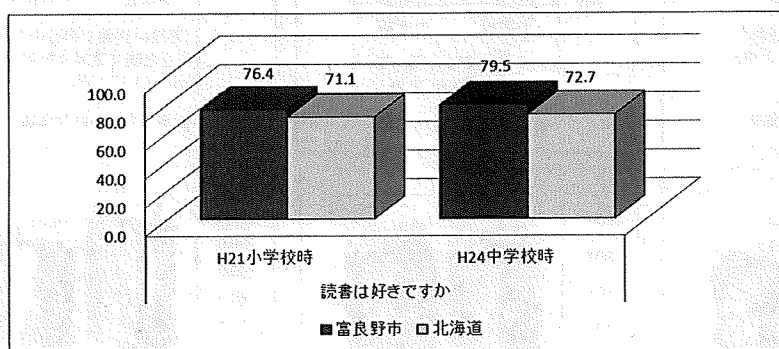
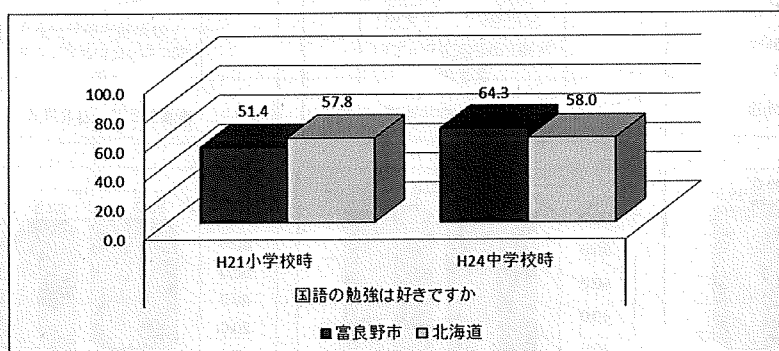
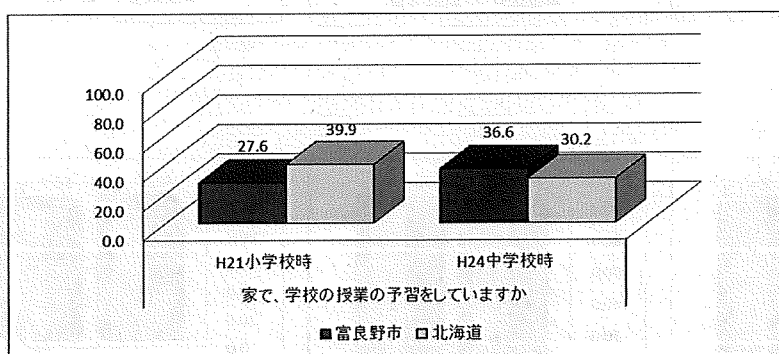
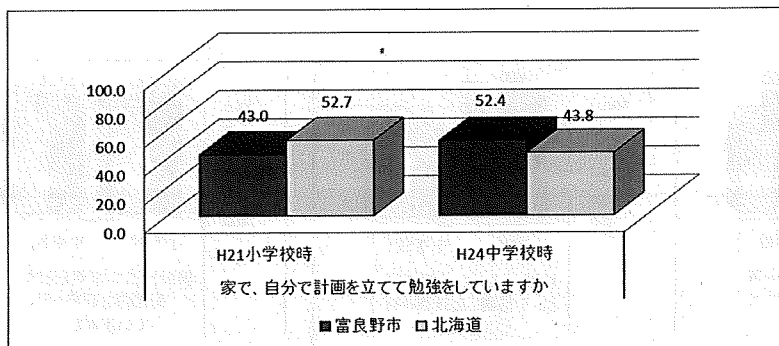
【学校質問紙】



【児童生徒質問紙】



《資料2》 中学校3年生（平成24年度）の小学校6年時（平成21年度）との比較
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（抜粋）



～すべては子どもたちのために～

行政、学校、家庭、地域社会が連携し、
確かな学力向上に努めます。

■教育委員会

- 学校、家庭、地域が一体となって取り組める体制づくりを推進します。
- 継続的な外部講師等の協力を得て学校教育を推進します。

■学校

- 現状把握と明確な目標を設定し、学校全体が1つの課題に取り組む体制づくりに努めます。
- 児童生徒の学ぶ意欲及び関心の向上を図り、学習の悩みゼロに努めます。
- 児童生徒が発表する場面を積極的に取り入れ、自ら学ぶ意欲を育てます。
- 基礎・基本の確実な定着を図るため、学校の指導体制及び指導方法の工夫改善を図ります。
- 家庭や関係機関等と連携し、個に応じた特別支援教育の充実を図ります。
- 学校間・校種間の連携と円滑な接続に努めます。
- 家庭学習の定着化に向け、宿題の出し方等の工夫改善を図ります。

■家庭

- 家族の約束7カ条を推進しましょう。
- 日常生活での積極的なコミュニケーションに努めましょう。
- 規則正しい生活習慣と計画的な家庭学習（予習・復習など）に取り組みましょう。
- 「早寝・早起き・朝ごはん、みんなそろって晩ごはん」を実践しましょう。
- 「ほめて、伸ばす」家庭教育に取り組みましょう。

■地域

- 積極的に子どもたちと触れ合いましょう。
- 学校の応援団として、学校支援ボランティアへ登録しましょう。

富良野市教育委員会 学校教育課

TEL 0167-39-2320